

‘WASS’とは

‘WASS’は、2011年にシンガポールにおいて設立されました。

正式名称は、

日本名； 「シンガポールにおける鋼構造普及に向けた研究会」

英文名； Workshop on Advancing the use of Structural Steel in Singapore

1. WASS設立の目的

- 1)シンガポール国内において、日本の誇る鋼構造を 総合的に普及させることで、シンガポールの社会・経済の更なる発展に貢献すること
- 2)日本政府も推進する関東・東北大震災後の日本企業の海外での活動強化、すなわち「日本ブランド復活」の具体的テーマ実現に取り組むこと

以上を目的としています。

(なお、本研究会は、参加する個別企業・団体を利するための活動は行ないません。

あくまでも、「日本丸」を結成し、日本建築業においても、自動車等の既にブランドを確立している業界に匹敵するような「日本ブランド」の基盤を確立していこうということです。)

※何故、シンガポールでWASSを立ち上げたのか？

それは、シンガポールは、大学研究機関を中心に鋼構造に係わる建築構造技術が一定のレベルに達し、かつ関係者間の連携が取りやすい環境が整っているからです。しかし、まずシンガポールで実績を積み上げたところで、内容を充実させながら、今後は適宜、近隣の東南アジア諸国でも、またその他の分野、例えば土木分野でも同様の動きに繋がっていくことを狙っています。

※WASSの活動の初期段階において、その目的をシンガポール政府の建設局にあたるBuilding and Construction Authority (BCA)をはじめ団体・企業に紹介しました。シンガポールでは労働者不足やコストの上昇が課題となっており、そのためBCAは建設業における生産性向上に強い問題意識を持っていることから、WASSの活動に高い関心を示し、支持を表明しました。加えて、日本国政府／国土交通省もWASSの取り組みを評価することになりました。

そうしたWASSの最初の活動として、第1回WASSセミナーを2012年5月10・11日、第2回セミナーを2013年8月2日、第3回セミナーを2014年10月29日、第4回セミナーを2016年5月10日に開催しました。非常に多くの支援の下、成功裏に終えることができました。

[\(詳細は、2016年WASSセミナーレポートをご覧ください\)](#)

2. WASSの活動

- 1) 鋼構造を普及させることによるメリットと課題の整理
 - ・コンクリート構造との比較における工期短縮の優位性
 - ・日本の鋼構造技術の安全性・信頼性・環境適合性
- 2) 鋼構造の普及・浸透等の活動成果に合わせて、日系建設関連企業等のシンガポール、および、アセアン諸国でのビジネス支援、および地元関連企業の育成支援

WASSは、次のような団体・企業の参加支援を期待しています。

- 日系ゼネコン・マリコン
- 日系設計事務所
- 日系鉄鋼メーカー
- 鉄鋼関係商社流通企業
- その他日系建設関連企業
- 日系大学・研究機関
- 現地設計事務所
- 現地铁骨加工業者
- 現地大学・研究機関
- 現地铁鋼関係流通企業

WASSは、支援、協賛の申し込みを受け付けます。

